

電源について

■ソーラーバッテリーの充電と使用方法

本機はシガーライターソケットからの充電・使用に加え、ソーラープレートによる太陽光からの充電ができます。
初めてご使用になるときは、付属のシガープラグコードを使い、充電しながらご使用ください。(走行中、駐車中にも太陽光から充電されますが、気象条件、使用環境に左右されない、より確実な初期充電を行うことができます)

シガープラグコードで充電する場合、バッテリーアラームが鳴った状態からは、約15時間(例 1日3時間 で5日間)でフル充電できます。
電源スイッチのON/OFFに関係なく充電できます。

1度充電したあとは、バッテリーランプが点滅を始めるまで、シガープラグを抜いて、そのままお使いください。
初期充電を充分に行えば、使用中のバッテリーの消費分は、走行中や駐車中に太陽光からの充電で補充されます。
フル充電したあとは、まったく充電されない状態でも約60時間(無警報時)の連続使用ができます。
連続使用時間は、各種機能の設定状態により異なります。

内部のバッテリーには寿命があります。充電が充分でなくなったら、新しいものと交換してください。(使用状況にもよりますが、約3～5年を目安にしてください)
交換については、お買い上げの販売店、または最寄りの弊社営業所・サービス部にご相談ください。

冬期は、日照時間やソーラーバッテリーの性能上、充電しにくくなる場合があります。バッテリーアラーム機能がひんぱんに働くときは、シガープラグコードを接続した状態での使用をお勧めします。

電池交換の方法

内部のバッテリーには寿命があります。充電が充分でなくなったら、新しいものと交換してください。(使用状況にもよりますが、約3年～5年を目安にしてください)

●本機は専用のニッケル水素電池を使用しています。安全のため専用電池以外は使用しないでください。新しいバッテリーについては、お買い上げの販売店、または最寄りの弊社営業所・サービス部にご相談ください。

■オートパワー-OFF機能について

アイドリングなどの振動の少ない状態(停車中)や、エンジンを切ったときなど振動の少ない状態(駐車中)が約3分以上続くとき、自動的に電源が切れます。(その後、振動を検出すると電源が入ります)

振動や騒音の激しい場所では、わずかな揺れを検出して電源が切れないことがあります。使用しないときは電源スイッチで電源を切ってください。走行中でも、停車や低速運転などで、振動を検出できない状態が約3分間続いた場合にはオートパワー-OFF機能が働きます。

音量 / 受信感度を設定する

1 電源を入れる

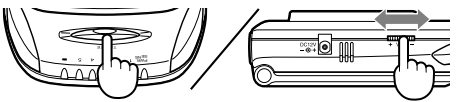
電源スイッチをONにします。



確認音 (㊦)ピロピロ... が数秒間鳴り、パイロット&感度ランプが点滅します。
節電のため、パイロット&感度ランプは点滅で動作します。

2 音量を調節する

テスト&ミュートボタンを押しながら、音量ツマミを回します。



テスト&ミュートボタンを押す前から警報機能が働く場合は、近くで発信されている取締りレーダー波と同じ電波を受信しているためです。この状態でボタンを押すと、ミュート機能が働き、警報音が止まります。

バッテリー表示機能について

■ローバッテリー表示について

初期充電不足や太陽光が当たらない条件下での使用が続きバッテリーが消耗してくると、バッテリーランプが点滅し、ローバッテリーアラーム (㊦)ピピッ...ピピッ... が鳴り出します。このようなときは充電が必要で、付属のシガープラグコードを使い、充電しながらご使用ください。

バッテリーの状態	バッテリーランプ
バッテリーが消耗し、充電が必要な状態	赤色点滅
バッテリーが消耗し、すぐに充電が必要な状態 (探知機能は動作しなくなります)	赤色点滅 (ピピッ...ピピッ...ピピッ...)
	ローバッテリーアラームが鳴ります (約1分間)

■バッテリーの残量表示について

テスト&ミュートボタンを押している間、バッテリーの残量の状態を表示します。

バッテリーの状態	バッテリーランプ
残量が充分な状態	緑色点灯
少し消耗した状態	オレンジ色点灯
充電が必要な状態	赤色点灯

- シガープラグコードをDCジャックに差し込んだ状態では、バッテリーの残量表示はしません。
- 電源を入れたも、数分間はバッテリー残量を正しく表示できないことがあります。
- 温度が極端に高いところまたは低いところでは、バッテリー残量を正しく表示できないことがあります。

3 受信感度を選ぶ

受信感度セレクトスイッチで切り換えます。



受信感度セレクトスイッチを切り換えるたびに、受信感度が切り換わり、パイロット&感度ランプの点滅色が変わります。

ウルトラ感度モード (緑色)
↑↓
カットダウンモード (赤色)

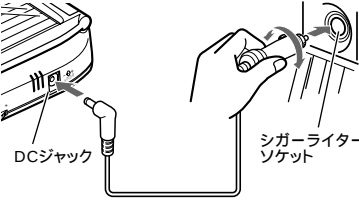
受信感度について

受信感度が高いほど、遠くの電波を受信できますが、取締りレーダー波と同じほかの電波も受信しやすくなります。走行環境や条件に合わせて、受信感度をお選びください。また、受信感度が高いほど、新Hシステムなどの受信には有効となります。

シガーライターソケットからの充電と使用方法

付属のシガープラグコードを、DCジャックと車のシガーライターソケットに差し込む

シガープラグは、2、3回左右にひねりながら差し込みます。



警告

❗ 助手席エアバックの妨げとなる場所に配線しないでください。電源コードが妨げとなり、エアバックが正常に動作しなかったり、動作したエアバックで本体が飛ばされ、事故やケガの原因となります。

- 本機はDC12V(マイナスアース)車専用です。
- シガープラグコードで充電する場合、バッテリーアラームが鳴った状態からは、約15時間でフル充電できます。
- シガープラグコードは、必ず付属のものをご使用ください。
- シガープラグ内部のヒューズが切れた場合は、同じ容量(1A)の新しいヒューズと交換してください。また、交換してもすぐにヒューズが切れる場合は、使用を中止し、シガープラグを抜いてお買い上げの販売店、または最寄りの弊社営業所・サービス部にご相談ください。
- シガープラグ内部には、ヒューズとスプリングが入っています。ヒューズ交換の際は、部品の紛失に注意し、順序を合わせて入れてください。
- 一部の車種においては、シガープラグの形状が合わないことがあります。その場合は、別売のOP-4を使用してください。
- 本機をバッテリーなどと直接接続すると破損の原因となります。絶対におやめください。

便利な機能について

オートクワイアット/ディマー機能

警報音が約30秒以上続くとき、自動的に音量が小さくなり、アラームランプやシグナルメーターなどのランプ類も暗くなります。

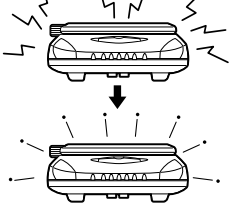
後方受信

iDSPによる超高精度識別およびウルトラ感度の高感度受信により、後方からの取締りレーダー波もしっかり受信します。

ミュート機能

- 取締りレーダー波の発信源の認識ができれば

警報中にテスト&ミュートボタンを押すと、受信中の電波がなくなるまで、警報音を一時的に消すことができます。



ターン・オン・ピープ

電源スイッチを入れたときや、オートパワー-ON機能により電源が入ったとき、確認音が鳴り、電源が入ったことをお知らせします。



iDSPについて

本機はiDSP/統合的デジタル信号処理技術(Integrated Digital Signal Processing Technology)により、ステルス型取締り機の「一瞬で強い電波」や、新Hシステムの「種類の異なる電波」に対しては、ただ単に警報するだけでなく、通常の警報音とは違うニアミスアラーム (㊦)ピロピロピロ...)でお知らせします。[ステルス識別][新Hシステム識別] またカーナビからのGPSのモレ電波などの妨害電波は、的確に識別し、誤警報を排除しています。さらに、温度変化などによる周波数ズレを自動補正しています。[GPS排除:特許第3044004号]

さらに「自動車ナンバー自動読み取り装置 (Nシステム)」や、取締り機とは区別して検知することに業界で初めて成功し、特別なNシステムアラーム (㊦)ピロピロ...)でお知らせします。[Nシステム検知:特許出願中]

iDSPを解除することはできません。iDSPはステルス型の取締り機に対して完全対応というわけではありません。また、取締りには電波を使用しない光電管方式でもありますので、先頭を走行する際はくれぐれもご注意ください。

新Hシステムについて

電波を用いる自動速度取締り機(オービス)の一種ですが、他のオービスとは種類の異なる電波(周波数は同一)を使用しているため、従来機では検知(受信)しにくくなります。ただし、このシステムでは証拠の記録をする前に、電光掲示板で「速度オーバー」や「速度超過」などの警告がありますので、これらの警告を見かけたら注意してください。



Nシステム検知について

「自動車ナンバー自動読み取り装置 (通称『Nシステム』)」は新Hシステムなどに似ていますが、レーダー波を使用した取締り機ではないため、従来機では通過しても何も反応しませんでした。そのため、「新型の取締り機ではないか?」といった疑問や不安を持ちながら運転していた人も多かったようです。本機は、このNシステムが発している特殊な信号を、識別および検知し、さらに、スピード違反の取締りとは区別して、Nシステムアラームでお知らせします。[Nシステム検知:特許出願中]

<Nシステムを検知すると>

- 『ピロピロ...ピロピロ...ピロピロ...』とNシステムアラームでお知らせします。
- Nシステム検知後、1分以内にもう1度Nシステムを検知しても、Nシステムアラームは鳴りません。
- Nシステム検知中に、取締りレーダー波を受信すると、取締りの警報音が優先されます。

警報機能について

Wアラーム方式

音(電子音)と光(アラームランプ/シグナルメーター)のダブルで警報します。

取締りレーダー波発信源との距離	電子音アラーム	断続音から連続的に変化します。
アラームランプ	点滅速度が変化します。	シグナルメーター

●警報が続くと、警報音が小さくなり、ランプ類も暗くなります。(オートクワイアット/ディマー機能)

ステルス型取締り機について

ステルス型取締り機は他の取締り機と同じ電波を使用していますが、事前に検知(受信)されないようにするため、待機中は電波を放射せず、必要なときに短時間強い電波を放射して、速度の測定ができる狙い撃ちの取締り機です。従来機では、先頭を走行せずに2番手以降で走行していても、一瞬しか警報されません。

取締り機(電波の種類)	シグナルメーター	警報音
通常の取締り機 (常時放射されている連続波)	左から右に点灯数が増えます。 	警報音が鳴ります。電子音は断続音から連続音に変化します。
ステルス型取締り機 (必要なときのみ、短時間放射される狙い撃ち的な連続波)	いきなり4つ以上点灯します。 	ニアミスアラーム(ピロピロピロピロ...)が鳴ります。
新Hシステム<新型オービス> (常時放射されている、種類の異なる電波)	段階的に点灯数が増え、3つ以上で新Hシステムを識別します。 	警報音で鳴りはじめ、新Hシステムを識別するとニアミスアラームが鳴ります。

GPS排除について

カーナビゲーションの中には、取締りレーダー波と同一周波数帯の電波を漏洩しているものがあります。従来機では、これが原因で警報が鳴りっぱなしになることがあります。この電波を容易に排除すると、肝心の取締りレーダー波に反応しないという、相反する問題がありました。本機では、取締りレーダー波にはしっかり反応するよう、取締りレーダー波や自動ドアの電波とのわずかな違いを的確に識別することにより、GPSの漏洩電波のみを自動排除し、誤警報を防止しています。(自動識別&排除設定機能) さらに、自動設定後も、一定の間隔で排除設定の内容および

- Nシステムは取締り機ではなく、その名のとおり「自動車ナンバー自動読み取り装置」であり、その信号の指向角が鋭いため、信号を受信できる区間が5m～100mと短くなります。そのため、走行中にNシステムを検知しても、Nシステムアラームが、直前または通り過ぎてからのように感じる場合もあります。
- Nシステムは常時稼働しているとは限りません。稼働していない状態では信号を受信できませんので、Nシステムの検知はできません。
- Nシステムが発しているものと同種の信号を使用している次の機器については、誤検知する場合があります。

- ・オービスのカメラ
- ・高速道路入り口のナンバー読み取り装置
- ・駐車場入り口のナンバー読み取り装置
- ・Tシステム(旅行時間予告知システム)
- 次のようなとき、ごくまれに誤検知する場合があります。
- ・液晶カメラやカーナビの画面に、本機を直接向けたとき
- ・朝日または夕日(地平線または水平線に近い状態)に向かって走行しているとき
- ・バイクなどのイグニッションノイズ

- 警報が約30秒間続くとき、警報音が小さくなり、ランプ類も暗くなります。
- シグナルメーターの点灯が右端に達すると、すべてが点滅します。
- ニアミスアラームは、ミュート機能により、一時的に消すこともできます。
- 通常の電波を受信した場合でも、周囲の状況などにより、ニアミスアラームが鳴ることがあります。

取締り機(電波の種類)	シグナルメーター	警報音
通常の取締り機 (常時放射されている連続波)	左から右に点灯数が増えます。 	警報音が鳴ります。電子音は断続音から連続音に変化します。
ステルス型取締り機 (必要なときのみ、短時間放射される狙い撃ち的な連続波)	いきなり4つ以上点灯します。 	ニアミスアラーム(ピロピロピロピロ...)が鳴ります。
新Hシステム<新型オービス> (常時放射されている、種類の異なる電波)	段階的に点灯数が増え、3つ以上で新Hシステムを識別します。 	警報音で鳴りはじめ、新Hシステムを識別するとニアミスアラームが鳴ります。

受信しにくい場合

電波の放射方法や周囲の環境、条件などにより、取締りレーダー波を受信しにくいことがあります。

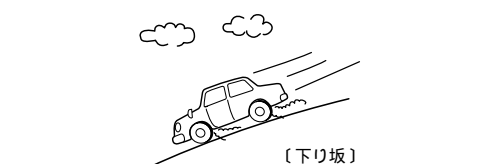
●前に走行している車(とくに大型車)がある場合や、コーナー、坂道では、電波が遮断され、探知距離が短くなることがあります。スピードの出やすい下り坂では、とくにご注意ください。

電波の放射方法や周囲の環境、条件などにより、取締りレーダー波を受信しにくいことがあります。

- 前に走行している車(とくに大型車)がある場合や、コーナー、坂道では、電波が遮断され、探知距離が短くなることがあります。スピードの出やすい下り坂では、とくにご注意ください。



(前に走行中の車がある場合) (コーナー)



(下り坂)

- 対象の車が近くに来るまで、電波を放射しない狙い撃ち的な取締りができるステルス型のスピード測定装置があります。
- 電波式の自動ドアや、信号機の近くに設置されている車輦通過計測機などは、取締りレーダー波と同じ電波を使用しているため、反応するとは選好られません。『いつも鳴るから』と安心せずに注意してください。

取締りのミニ知識

本機と、取締りの方法や種類をよくつかんで、上手にご使用ください。制限速度を守り、安全運転を心がけることが大切です。

スピード違反の取締り方法

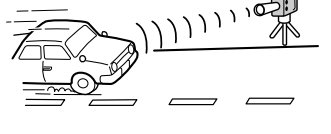
大きく分けて3つの方法があります。

1. 追走して測定する方法(追尾方式)
指針を固定できるスピードメーターを搭載している白バイやパトカーで、対象の車を追走して速度を測ります。本機は後方受信しますが、この追尾方式は電波を出しておりませんので、受信および警報することはできません。
2. 距離と時間で算出する方法(光電管式、ループコイル式)
一定区間を通過するのにかかる時間から速度を算出します。測定区間の始めと終わりに設置するセンサーには、赤外線や埋め込みの磁気スイッチなどが使われています。

これらの方式は電波を出しておりませんので、受信および警報することはできません。

3. 電波を使って算出する方法(レーダー式)
電波を対象の車に向けて放射し、その反射波の周波数変化(ドップラー効果)で速度を算出します。

現在、スピード違反の取締りには、この方法が多く採用されています。この方法は、歴史も古く、種類、台数が多いことから、今後も取締りの主流となると思われます。



故障かな?と思ったら

修理をご依頼になる前に、もう1度次のことをご確認ください。それでも異常や故障と思われるときは、お買い上げの販売店、または弊社営業所・サービス部にご相談ください。

症状	チェック項目
電源が入らない	●電源スイッチがONになっていますか。 ●バッテリーが消耗していませんか。シガープラグコードを使って充電してください。 ●オートパワー-OFF機能が働いていませんか。停車や駐車の状態が約3分以上続くとき、自動的に電源が切れます。
充電できない	●太陽光を十分に当てても充電できないときは、シガープラグコードを使って充電できるか確認してください。 ●シガープラグで充電できないときは、シガープラグ内部のヒューズが切れていないか確認してください。切れている場合は、同じ容量(1A)の新しいヒューズと交換してください。
反応(警報)しない	●電源が入っていましたが、パイロットランプの点滅を確認してください。 ●警報機能が正しく働きますか。テスト&ミュートボタンを押して確認してください。 ●オートパワー-OFF機能が働いていませんか。停車や駐車の状態が約3分以上続くとき、自動的に電源が切れます。 ●取締りレーダー波が発射されていたか。計測する瞬間だけ電波を発射するステルス型など、取締り準備中あるいは終了後などに、スピード測定装置から取締りレーダー波が発射されていないことがあります。(とくにオービスIIIではよくあります) ●取締りが「レーダー方式」で行われていなかったか。
取締りもしないのに警報機能が働く	●ローバッテリーアラームではありませんか。バッテリーランプが点滅しているときは、シガープラグコードを使って充電してください。 ●取締りレーダー波と同じ電波が他にも使用されています。これらの電波を受信すると警報機能が働くことがあります。故陣ではありませんので、ご了承ください。 ●取締りレーダー波と同じ電波を使用している主な機器 ・電波式の自動ドア、防犯センサー ・信号機の近くに設置されている車輦通過計測機 ・NTTのマイクロウェーブ通信回路の一部 ・気象用レーダー、航空レーダーの一部 ・他のレーダー探知機の一部 ・まれに他の無線機の影響を受けることがあります。その場合は取り付け位置を変えてみてください。
警報の途中で警報音が小さくなりランプ類も暗くなる	●警報が続くと、バッテリーの消耗を抑えるために、警報音が小さくなり、ランプ類も暗くなります。(オートクワイアット/ディマー機能)
カーナビゲーションの影響を排除できない	●自動ドアなどの常に電波の出ている場所で電源スイッチをONにした場合、GPSを排除できないことがあります。このようなときは、電波の出ている場所へ移動して、もう1度本機の電源スイッチを入れ直してください。
Nシステムを検知できない	●Nシステムセンサーがサンバイザーやフロントガラスのスモークなどで、感知しなくなっているか。取り付け場所を変更してみてください。 ●Nシステムは稼働していましたが、稼働していない場合は、検知できません。 ●一部の車種に採用されているUVカットガラスにより、検知しにくい場合があります。

仕様

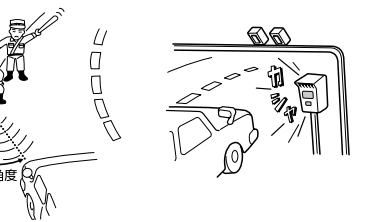
電源電圧: DC3.6V(ニッケル水素電池1.2V×3) DC12V(シガープラグ入力電圧)	受信周波数: Xバンド、Kバンド 動作温度範囲: -10℃～+85℃
消費電流: 待機時 4.5mA以下/ 最大 60mA以下	(充電可能温度範囲: -5℃～+85℃) 本体外形寸法: 70(W)×24(H)×10.1(D)mm
受信方式: スーパーシレーター式ダブルスーパーヘ ロダイン方式	本体重量: 132g(電池含む)
製品改良のため、仕様および外観の一部を予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。	

取締りレーダー波について

取締りレーダー波は、発射するときの角度や装置の種類によって性質が異なります。

- 定置式
人が測定装置を道路際に設置して行います。取締りレーダー波は、直進性が強いいため、発射角度が浅いほど、探知しやすくなります。
- 移動式
測定装置をパトカーに搭載して、移動しながら測定を行います。
- 自動速度取締り機(オービスIII)
速度の測定と証拠写真の撮影を自動的に行います。

Kバンドについて
Kバンドは、米国ですでに使用されている取締りレーダー波の周波数で、日本国内でも採用される可能性があります。本機は、現在国内で使用されているXバンドに加え、Kバンドも受信できるX・Kツインバンド対応です。



本機はレーダー方式のスピード測定装置に対応します。
探知距離は、走行環境、測定条件などにより変わることがあります。

アフターサービスについて

1. 保証書(本取扱説明書に付いています)
保証書は、必ず「販売店・お買い上げ年月日」をご確認のうえ、保証内容をよくお読みになって、大切に保管してください。
2. 保証期間
お買い上げの日から1年間です。
3. 対象部分
機器本体(消耗部品を除く)
4. 修理をご依頼されるとき
「故障かな?」と思ったら「確認しても、なお異常があると思われるときは、使用車名(車種)、機種名(品番)、氏名、住所、電話番号、購入年月日、保証書の有無と故障状況をご連絡ください。」
 - 保証期間中のとき
保証書の「故障内容記入欄」にご記入いただき、お買い上げの販売店まで保証書とともに、機器本体とシガープラグコードをご持参ください。保証書の内容にしたがって修理いたします。
 - 保証期間が過ぎているとき
まず、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。
5. アフターサービス等についてご不明の点は
お買い上げの販売店または下記のご相談窓口にご相談ください。
ご相談の受付時間は、月曜日～金曜日9:00～17:30です。ただし土曜日、日曜日、祝祭日、振替休日および年末・年始等は受け付けておりません。お問い合わせの際は、製品の機種名をご確認のうえ、使用状況もいっしょにご相談ください。

●ユビテルご相談窓口一覧

お客様ご相談センター TEL.(0564)45-5599

地 区	名称・電話番号・所在地
北海道	札幌営業所・サービス部 TEL.(011)618-7071 〒060-0008 北海道札幌市中央区北18条1丁目35-100 エアビル1F
青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島	仙台営業所・サービス部 TEL.(022)84-2501 〒984-0015 宮城県仙台市若林区卸町4-8-6 第2喜和ビル1F
栃木・群馬・茨城・埼玉・千葉・東京・神奈川・山梨・長野・新潟・静岡(西部の一部地区を除く)	東京営業所・サービス部 TEL.(03)769-2525 〒108-0023 東京都港区芝浦4-12-33 芝浦新本ビル3F
岐阜・愛知・三重・富山・石川・福井 静岡(西部の一部地区)	名古屋営業所・サービス部 TEL.(052)461-1281 〒453-0053 愛知県名古屋市中村区中村町6-5
滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山・徳島・香川・愛媛・高知	大阪営業所・サービス部 TEL.(06)6386-2555 〒564-0051 大阪府吹田市豊津町53-10
鳥取・島根・岡山・広島・山口	広島営業所・サービス部 TEL.(082)230-1711 〒733-0001 広島県広島市西区大芝2-9-2
福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄	福岡営業所・サービス部 TEL.(092)552-5351 〒815-0032 福岡県福岡市南区塩原3-2-19

- 上記窓口の名称、電話番号、所在地は、都合により変更することがありますのでご了承ください。
- 電話をおかけになる際は、市外番号などを確かめのうえ、おかけ間違いのないようご注意ください。